地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県常滑市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	常滑市文化遺産総合活	用推進事業	【計画の改善時期】 平成31年度
4 実施計画期間	平成 29 年度	~ 平成 33	3 年度

5 実施計画の概要

本計画では、主に下記の事業を実施する。

- ①常滑焼の普及啓発事業(平安時代末期から受け継がれている常滑焼の展示・講演会等)
- ②常滑市内各地区に伝わる囃子の継承事業(後世に継承していくため、ホームページでの情報発信や Blu-ray Discでの記録作成を行う。)
- ③山車の用具等整備事業(地域のシンボルである山車を後世に伝えるため、山車の修繕を行う。)
- ④とこなめ山車まつり(市内の山車、伝統芸能を一堂に集めて公開する)
- ・平成28年度までの「常滑市文化遺産活用推進事業」の実績報告を踏まえ、特に常滑焼の普及啓発事業 については、幅広い世代に常滑焼を知ってもらえたことが効果として得られたものの、さらに観光振興 等にも繋げる取組を実施することが必要であると検証したことから、本計画では、実施内容を改善し、 旧計画で実施した事業に加え、観光資源でもあるやきもの散歩道の見学を行う事業なども実施してい

6 実施体制

常滑市が全体計画の策定、調整、事業の指導等を行う。

- ・教育委員会 生涯学習スポーツ課
- 事業の実施については、次の団体が行う。
- ・常滑市文化遺産活用推進委員会(事務局:生涯学習スポーツ課)

構成団体:『尾州廻船が伝えた常滑』地域活性化推進委員会、大野谷文化圏活性化推進委員会、矢田万 歳保存会、尾張大野梅榮車継承委員会、大谷祭礼活性委員会、常磐車建造100周年記念実行委員会、白山 車建造百周年記念事業実行委員会、常滑焼活用推進委員会、常滑市奥条区、とこなめ山車まつり実行委

計画期間終了後は、市教育委員会及び本推進委員会において成果の評価を行い、その結果を次期実施計 画や市教育委員会の生涯学習・文化振興に係る方針設定などに活用する。

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

- 8 補助事業の概要 (1) 補助金額 ~平成30年度交付決定額: 99,341 千円 平成31年度申請額: 27,926 千円
 - (2) 実施事業の概要 別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

- ・常滑焼の普及啓発事業の実施により、目標とする観光客数を誘致・増加が達成できれば、常滑市の観 光・産業振興につなげることができる。
- ・常滑市内の各地区に伝わる囃子の継承事業を行い、文化財である山車の修繕を実施することで、目標 とする囃子や祭礼行事の保存会の会員数の維持・増加が達成できれば、地域への愛着が深まり、地域コ
- ミュニティをより深いものにすることができる。 ・とこなめ山車まつりを実施し、普段は各地域ごとに行われている伝統文化を一堂に会し公開すること で、市全体の文化と観光の振興に繋げるとともに、地域間の文化的交流を促進することができる。

10 その他事業(自主財源,民間団体,他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

事業③⑦⑧、④⑤⑳、⑥など、民間において、本市の主要な文化財である常滑焼を広 く一般に普及する事業を実施しているため、市教育委員会では主に子どもを対象とし た事業を展開している。平成29年度に日本六古窯が日本遺産に認定されたことを期 |に、学校、とこなめ陶の森(陶芸研究所・民俗資料館)と連携し、「日本六古窯常滑 事業概要: 焼学習事業」を実施し、小学生対象に常滑焼に触れ、歴史を学ぶ事業を実施してい る。平成31年度においては、さらに地元の陶芸事業者等の協力を得て、作陶体験の事 業を予定している。

事業⑤など、とこなめ焼協同組合や常滑焼陶芸作家などの協力を得て実施している 事業概要: |が、将来的に製作者自らが継続的、主体的に事業を行っていけるよう、引き続き働き かけを行っている。

11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

本補助事業を活用して、官民一体での地域活性化に向けた取り組み体制を確立させるとともに、事業を通じて地域に根付く様々な文化遺産の保存や活用方法についての課題等を明確にし、歴史文化基本構想及び文化財保存活用地域計画の策定を検討したい。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課

常滑市教育委員会 生涯学習スポーツ課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を	活用した集客・交流	. 24%041111-0	от одимати	
 評価指標区分1:	 地域の文化遺産関	 係資料館、博物館等	 の年間入館者数	 (具体的な指	標は次のとおり)
具体的な指標1:	常滑焼関連施設・	観光名所の利用者数	・観光客数		3~9, 19, 20, 24
目標値1:		、とこなめ陶の森等 28 年度 801,900	6 か所) 【目標		度 1,142,000 人
設定根拠1:	迥去10平间の八月				7年0.6%增に放止
進捗状況1:	亚广 20 左连	1	状況値、目標に対す	1	元代 04 左连
平成 29 年度 727,400 人	平成 30 年度 713,300 人	平成 31 年度 人	平成 32 年度 人	平成 33 年度 人	平成 34 年度 人
-22%	-26%	7	Λ.	7.	7
目標区分2:	伝統文化の継承体	制の維持・確立			
——————— 評価指標区分2:	祭礼行事等の保存	 会会員数、保存団体		 (具体的な指	標は次のとおり)
 具体的な指標 2 :	大田万歳保存会	 会員数			事業②, ⑩
目標値2:		28 年度 10			:度 18 人
設定根拠2:	文化庁補助事業の	の活用により、H28	の入会者は4人だ。		, ,
進捗状況2:	会員の高齢化を利	考慮し、年間1.6人	増に設定 状況値, 目標に対す	- 7 法战变	
平成 29 年度	平成 30 年度		1人が順, 日標IC対 9 	平成 33 年度	平成 34 年度
14 人	12 人	一次 31 4 人	人	人	人
50%	25%				
目標区分3:	伝統文化の継承体	制の維持・確立			
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存	会会員数、保存団体	数	(具体的な指	標は次のとおり)
具体的な指標3:		部の若い衆(山車・ 上の人)組織への刻		関連事業:	事業①, ⑤
目標値3:		28 年度 47	人 ⇒ 【目標	直】 平成 33 年	度 75 人
	現在の16歳未満の	の住民数から設定			
—————————————————————————————————————		—————————————————————————————————————	 状況値, 目標に対す	 ⁻ る達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
59 人	65 人	人	人	人	人
43%	64%	that = th the section			
目標区分4:	伝統文化の継承体				
評価指標区分4:	祭礼行事等の保存	会会員数、保存団体	数 ————————————————————————————————————	(具体的な指	標は次のとおり)
具体的な指標4:	尾張大野梅榮車係	R存会会員数 ———————————————————————————————————		関連事業 : 事	耳業②, ⑫, ⑯
目標値4:	【現状値】 平成	28 年度 18	人 ⇒ 【目標	直】 平成 33 年	度 18 人
設定根拠4:	地区の人口が社会	会減の状況により、	現状維持を設定		
進捗状況4:		各年度,	状況値、目標に対す	- る達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
19 人	16 人	人	人	人	人
106%	0%		ĺ		

目標区分5:	伝統文化の継承体	制の維持・確立							
評価指標区分5:	祭礼行事等の保存	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)							
具体的な指標5:	常磐車保存会会	常磐車保存会会員数 関連事業: 事業③, ⑰, ⑳, ⑳, ⑳							
目標値5:	【現状値】 平成	28 年度 41	人 ⇒ 【目標	値 】 平成 33 年	三度 68 人				
設定根拠5:	山車部会、囃子 設定	部会それぞれの過去	らの入会者数の傾	向から約2倍を目指	旨し、年間5.5人に				
進捗状況5:	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	各年度,	状況値、目標に対す	ける達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度				
46 人	56 人	人	人	人	人				
19%	56%								
目標区分6:	伝統文化の継承体	制の維持・確立							
評価指標区分6:	祭礼行事等の保存	会会員数、保存団体	数	(具体的な指	標は次のとおり)				
具体的な指標6:	白山車保存会会	員数		関連事業:	事業⑭, ⑱				
目標値6:	【現状値】 平成	28 年度 60	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 60 人				
設定根拠6:	地区の人口が社会	会減の状況により、	現状維持を設定						
進捗状況6:		各年度,状況値,目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度				
60 人	60 人	人	人	人	人				
100%	100%								
目標区分7:	伝統文化の継承体	制の維持・確立							
評価指標区分7:	祭礼行事等の保存	会会員数、保存団体	数	(具体的な指	標は次のとおり)				
具体的な指標7:	奥条囃子保存会:	会員数		関連事業:	事業②				
目標値7:	【現状値】 平成	29 年度 100	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 116 人				
設定根拠7:	地区の人口の緩	やかな社会減の状況	兄と事業実施の効	果を勘案し年間4	人増に設定				
進捗状況7:		各年度,	状況値、目標に対す	ける達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度				
100 人	110 人	人	人	人	人				
0%	63%								
目標区分8:	伝統文化の継承体	制の維持・確立							
評価指標区分8:		会会員数、保存団体		(具体的な指	標は次のとおり)				
具体的な指標8:	常滑市内祭り保 1年生~中学34	字会における子ども 手生)	· 会員数(小学	関連事業:	事業②				
目標値8:	【現状値】 平成	30 年度 245	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 270 人				
設定根拠8:	地区の人口の緩	やかな社会減の状況		果を勘案し1割増に	二 設定				
進捗状況8:		各年度,	状況値、目標に対す	ける達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度				
人	245 人	人	人	人	人				
Ī	0%								

8(2)実施事業の概要 別紙

事業①: 常滑灯			実施団体: プ	、野谷文化圏活性化	推進委員会			
事業区分:	普及啓発		事業期間: 3	平成 29 年度 ~	平成 29 年度			
事業概要:	日本六古窯の一つである常滑焼について学び、体験し、常滑の焼き物を活用した茶席を設けて地域に受け継がれてきた文化を啓発し、常滑焼の普及を図る。							
評価指標区分:		イベント等(本事業の タル数(協賛企業・団		おける (具体的な 打	指標は次のとおり)			
具体的な指標:	事業への協賛企業	美・団体、賛同者の	件数					
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 0	件 ⇒ 【目標	票値】 平成 33 年	三度 25 件			
進捗状況:		各年度,状	況値、目標に対	する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
7 件	10 件	件	件	件	件			
28%	40%							
事業②: 古典(の日記念「伝統文化	化のつどい」	実施団体:	、野谷文化圏活性化	推進委員会			
事業区分:	普及啓発		事業期間:					
事業概要:	種作品展示を行い	・の受け継いできたへい、日本の古典文化へ は世代へ繋ごうとす	への関心とこの	催しを通して地域は				
評価指標区分:	・保存会への新規プ	入会者数		(具体的な打	指標は次のとおり)			
具体的な指標:	矢田万歳保存会親	f規会員数						
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 0	人 ⇒ 【目標	栗値】 平成 33 年	E度 4 人			
進捗状況:		各年度,状	況値、目標に対	する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
4 人	5 人	人	人	人	人			
100%	125%							
具体的な指標:	尾張大野梅榮車係	以存会新規会員数						
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 0	人 ⇒ 【目標	票値】 平成 33 年	度 3 人			
進捗状況:		各年度,状	:況値, 目標に対	する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
1 人	3 人	人	人	人	人			
33%	100%							

事業⑦: とこれ		美展示会	盆栽	展示会	実	施団体	: 『尾	.州廻船	が伝え	た常滑』	地域活	性化推進	重委員会
事業⑧: とこだ 事業区分:		長展示会	小品?	盆栽展示金		業期間	: 平	或 2	——— 9 年	 F度 ~	平成	33	 年度
事業概要:	やきもの 小品盆栽	の展示を	と実施す	と得て、常 ける。空の たることに	滑焼の 盆栽鉢	盆栽鉢 ・植木釒	• 植木 鉢だけ	鉢を	使った 作りと	と寄植; 出せない	え体験 ハ自然	美と	盆栽・ 人工美
評価指標区分:	・その他								(具作	本的な打	旨標は	欠のと	おり)
具体的な指標:	フェイス	ブックで	さの「レ	いね」の	数								
目標値:	【現状値】	平成 2	28 年	度 0	件	⇒	【目標値	三 平	成	33 年	度	500	件
進捗状況:				各年度	状況値	,目標に	こ対す	る達成	文率				
平成 29 年度	平成 3	年度	平成	31 年月	度 平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
65 件	715	件		件			件			件			件
13%	14	3%											
事業⑤: とこれ	なめ焼急須 なめ焼急須 焼を活用し	活用講	座		実	施団体	: 地址	或活性	化推	州廻船 進委員 焼活用	会		
事業区分:	普及啓発					事業期間事業期間	- ' '			F度 ~ F度 ~		33	年度 年度
事業概要:	滑焼を使	った煎剤 者のモノ	芒・抹茶	常滑焼急須 その体験会) に対する	で煎茶	を美味し	 しく淹 尭の魁	れる と力を	方法を 広く	を学ぶま	講演指	導会 & もに、	上、常やき
評価指標区分:	・その他								(具作	体的な打	旨標は	欠のと	おり)
具体的な指標:	フェイス	ブックで	さの「レ	いね」の	数								
目標値:	【現状値】	平成 2	28 年	度 0	件	⇒	【目標値	三 平	成	33 年	度	500	件
進捗状況:				各年度	状況値	,目標は	こ対す	る達成	率				
平成 29 年度	平成 3	年度	平成	31 年月	至 平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
65 件	715	件		件			件			件			件
13%	14												
評価指標区分:				等(本事)(協賛企業)				ける	(具体	本的な打	旨標は	欠のと	おり)
具体的な指標:	事業への	協賛企業	と・団体	本、賛同者	の件数								
目標値:	【現状値】	平成 2	29 年	度 0	件	⇒	【目標値	平	成	33 年	度	15	件
				各年度	状況値	,目標に	こ対す	る達成	率				
λΞ13 P(30 :													
平成 29 年度	平成 3	9 年度	平成	31 年月	至 平成	32	年度	平成	33	年度	平成	34	年度
	平成 3	年度件	平成	31 年 原		32	年度 件	平成	33	年度 件	平成	34	年度

事業⑥: とこ	なめ焼実践展示会 フ	プラワーアート展	実施団体: 『『	尾州廻船が伝えた常滑』	地域活性化推進委員会
事業区分:	普及啓発		事業期間: 平	² 成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	多くの人々に焼き物のオブジェクト、器物を				どが造る焼き物、
評価指標区分:	・その他			(具体的な指	f標は次のとおり)
	フェイスブックでの	「いいね」の数		•	
目標値:	【現状値】 平成 28	年度 0 作	井 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 500 件
		各年度,状況	記値, 目標に対す	ける達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平月	成 31 年度 平	成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
65 件	715 件	件	件	件	件
13%	143%				
事業⑨: 常滑:	竞技術普及継承推進事	F 業	実施団体: 『『	尾州廻船が伝えた常滑』	地域活性化推進委員会
事業区分:	後継者養成		事業期間: 平	² 成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	急須ロクロ技法、タクの技法を公開し、多の 人々の後継者に対し	くの人々にやきも	のへの理解を信	促すとともに、常津	
評価指標区分:	・その他		, 20,000, - 0		f標は次のとおり)
 具体的な指標:	常滑焼従事者の数			l	
目標値:	【現状値】 平成 28	年度 400 人	→【目標	値】 平成 33 年	度 500 人
進捗状況:		各年度,状況	記値, 目標に対す	ける達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平月	成 31 年度 平	成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
406 人	416 人	人	人	人	人
6%	16%				
事業⑩ : 矢田	万歳後継者育成事業		実施団体: 矢	田万歳保存会	
事業区分:	後継者養成		事業期間: 平	元成 29 年度 ~	平成 29 年度
事業概要:	矢田万歳保存会の会員 座と練習を行い、後約		ともに新規に	募集を行い、外部詞	構師による特別講
評価指標区分:	・保存会への新規入会	者数		(具体的な指	f標は次のとおり)
	矢田万歳保存会への新	新規入会者数		,	
目標値:	【現状値】 平成 28	年度 0 /	→ 【目標	値】 平成 33 年	度 4 人
進捗状況:		各年度,状況	記値, 目標に対す	ける達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平月	成 31 年度 平	成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
4 人	5 人	人	人	人	人
100%	1	1		I	

事業 ⑪: 大谷 ²	後継者養成事業		実施団体:	大谷祭礼活性委員会	
———— ! 事業区分:	後継者養成		事業期間:	平成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	開するとともに、)、八幡社祭りで曳き 立川流の彫り物を展 対象の講習会を実施	昊示して、広く	公開していく。また	た、大谷区やその
評価指標区分:	・保存会への新規	入会者数		(具体的な打	指標は次のとおり)
具体的な指標:	大谷区西部神事部 人数	『の若い衆(山車・囃	推子の保存に従	的事する16歳以上の	人)組織への参加
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 47	人 ⇒ [目	標値】 平成 33 年	度 71 人
進捗状況:		各年度,状态	況値、目標に対	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 平	² 成 32 年月	度 平成 33 年度	平成 34 年度
59 人	65 人	人	人	人	人
50%	75%				
事業⑩: 尾張:	大野梅榮車後継者	養成事業	実施団体:	尾張大野梅榮車継承	委員会
事業区分:				平成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	2. 大屋根修理・	゙操作の習得、糸通し 宵幕修理の作業手順 ○を、5月の大野祭り	質、作業方法を	子写真等で学習する。	
評価指標区分:	・保存会会員数の変	変化(維持)		(具体的な打	指標は次のとおり)
具体的な指標:	尾張大野梅榮車係	と 存会員数の現状維持	j	•	
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 18	人 ⇒ 【目:	標値】 平成 33 年	度 18 人
進捗状況:					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 平	亞成 32 年月	度 平成 33 年度	平成 34 年度
19 人					
	16 人	人	人	人	人
106%	16 人	人	人 ————————————————————————————————————	人 ————————————————————————————————————	人
		人		人 常磐車建造100周年記	
	0% 电後継者養成事業	人		常磐車建造100周年記	己念実行委員会
事業(3): 常磐:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適り	人	実施団体 : 第 業期間 : ため、常磐車また、山車科	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 三の構造や部品の名和 日み上げ及び解体の	記念実行委員会 平成 33 年度 弥及び取付位置な 手順の実技指導を
事業⑬: 常磐:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適り 受け、後継者の養 する。	学車を後世に伝承する Jな保管を実施する。 E成に取り組むととも	実施団体 : 第 業期間 : ため、常磐車また、山車科	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 三の構造や部品の名類 日み上げ及び解体の メ上げ手順を示した	記念実行委員会 平成 33 年度 弥及び取付位置な 手順の実技指導を
事業(③): 常磐: 事業区分: 事業概要:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適り 受け、後継者の養する。 ・保存会会員数の変	学車を後世に伝承する Jな保管を実施する。 E成に取り組むととも	実施団体 : (1) 事業期間: (1) ため、常磐車また、山車組みのに、山車組み	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 記の構造や部品の名類 引み上げ及び解体の 以上げ手順を示した。 (具体的な打	記念実行委員会 平成 33 年度
事業③: 常磐: 事業区分: 事業概要: 評価指標区分:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適り 受け、後継者の着 する。 ・保存会会員数の変 市場組常磐車の山	等車を後世に伝承する。 Jな保管を実施する。 素成に取り組むととも 変化(維持) J車保存会(山車部会	実施団体: 7 事業期間: 5 ため、常磐車 また、山車組み かに、山車組み	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 王の構造や部品の名和 日み上げ及び解体の 本上げ手順を示した (具体的な打)増加	記念実行委員会 平成 33 年度
事業(③: 常磐: 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適切 受け、後継者の養する。 ・保存会会員数の変 市場組常磐車の山	等車を後世に伝承する 可な保管を実施する。 養成に取り組むととも 変化(維持) 山車保存会(山車部会 18 年度 20	実施団体: 7 事業期間: 5 ため、常磐車 また、山車組み かに、山車組み	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 正の構造や部品の名類 はみ上げ及び解体の は上げ手順を示した。 (具体的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打 (関係的な打	記念実行委員会 平成 33 年度 本及び取付位置な 手順の実技指導をマニュアルも作成 情標は次のとおり)
事業(③: 常磐: 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適切 受け、後継者の養する。 ・保存会会員数の変 市場組常磐車の止 【現状値】 平成 2	等車を後世に伝承する 可な保管を実施する。 意成に取り組むととも 変化(維持) 山車保存会(山車部会 8 年度 20 各年度、状え	実施団体: (事業期間: ため、常磐車 また、山車組み に、山車組み (こ) の会員数の 人 → 【目	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 正の構造や部品の名類 はみ上げ及び解体の は上げ手順を示した。 (具体的な対 (関体的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対 (関本的な対	記念実行委員会 平成 33 年度 本及び取付位置な 手順の実技指導をマニュアルも作成 情標は次のとおり)
事業(③: 常磐: 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値: 進捗状況:	0% 車後継者養成事業 後継者養成 文化財である常磐 どを把握し、適切 受け、後継者の養する。 ・保存会会員数の変 市場組常磐車の止 【現状値】 平成 2	等車を後世に伝承する 可な保管を実施する。 意成に取り組むととも 変化(維持) 山車保存会(山車部会 8 年度 20 各年度、状え	実施団体: の 事業期間: ため、常磐車 また、山車組み に、山車組み (注) の会員数の 人 ⇒ 【目 記値,目標に対	常磐車建造100周年記 平成 29 年度 ~ 正の構造や部品の名和 はみ上げ及び解体の は上げ手順を示した。 (具体的な打 (関体的な打 では、 33 年度 では、 33 年度	記念実行委員会

事業⑭: 白山	車後継者養成事業		実施団体	は : 白	山車建造	百周年記念	念事業実	 (子) () () () () () () () (
	後継者養成		事業期間	引: 平	严成 29	年度 ~	平成	33 年度
事業概要:		ザ、組み下ろしの いらの技術、知識						
評価指標区分:	・保存会会員数の	変化(維持)			(أ	具体的な指	信標は次(のとおり)
具体的な指標:	白山車保存会員数	数の現状維持						
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 60	人 ⇒	【目標	腫 平成	33 年	度 6	0 人
進捗状況:		各年度,	状況値,目標	に対す	する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32	年度	平成 3	3 年度	平成	34 年度
60 人	60 人	人		人		人		人
100%	100%							
事業 ⑮: 蓬莱	車整備事業		実施団体	* : 大	C谷祭礼活·	性委員会		
事業区分:	用具等整備		事業期間	引: 平	严成 29	年度 ~	平成	33 年度
事業概要:	祭礼の講演会等、	回しを行う蓬莱車 後継者養成事業 こついては、事業	を実施してレ	\ < .				
評価指標区分:						具体的な指		
具体的な指標:	大谷祭礼参加者数	 数						
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 380	人 ⇒	【目標	[値】 平成	33 年	度 65	50 人
目標値: 進捗状況:		, , , ,	人 ⇒ 状況値, 目標		1 ,,,,	33 年	度 65	50 人
		各年度,	状況値, 目標		する達成率	33 年 3 年度	度 65 平成	34 年度
進捗状況:		各年度,	状況値, 目標	に対す	する達成率			
進捗状況: 平成 29 年度	平成 30 年度	各年度, 平成 31 年度	状況値, 目標	年度	する達成率	3 年度		34 年度
進捗状況: 平成 29 年度 520 人 52%	平成 30 年度 530 人	各年度, 平成 31 年度 人	状況値, 目標 平成 32	年度人	する達成率	3 年度	平成	34 年度
進捗状況: 平成 29 年度 520 人 52%	平成 30 年度 530 人 56% 大野梅榮車整備事	各年度, 平成 31 年度 人	状況値, 目標 平成 32	年度 人 本: 尾	する達成率 平成 3	3 年度	平成委員会	34 年度
進捗状況 : 平成 29 年度 520 人 52% 事業⑥: 尾張	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事用具等整備長年の使用で破れいるので、復元値	各年度, 平成 31 年度 人	状況値, 目標 平成 32 実施団体 事業期間 、生地の劣化 後継者養成	年 人	する達成率 平成 3 型張大野梅 呼成 29 い合わせる っていく。	3 年度 人 榮車継承 年度 ~ 5 ことも	平成 委員会 平成 困難にな	34 年度 人 33 年度 こってきて
 進捗状況: 平成 29 年度 520 人 事業16: 尾張 事業区分: 	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事用具等整備長年の使用で破れいるので、復元値後継者養成事業に養験業」を参照	各年度.平成 31 年度人業で等破損が目立ち多理するとと事業こついては、事業	状況値, 目標 平成 32 実施団体 事業期間 、生地の劣化 後継者養成	年 人	する達成率 平成 3 張大野梅 で成 29 いって「尾張」	3 年度 人 榮車継承 年度 ~ 5 ことも	平成 委員会 平成 困難にな 事後継者	34 年度 人 33 年度 つてきて 養成事
進捗状況: 平成 29 年度 520 人 52% 事業⑥: 尾張 事業区分:	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事用具等整備長年の使用で破えいるので、復元低後継者養成事業に業」を参照・保存会会員数の	各年度.平成 31 年度人業で等破損が目立ち多理するとと、事業こついては、事業	状況値,目標平成 32実施団体事業期間生地の劣化後継者養②の後継者養	年 人	する達成率 平成 3 張大野梅 で成 29 いって「尾張」	3 年度 人 楽車継承 年度 ~ ることも 大野梅榮耳	平成 委員会 平成 困難にな 事後継者	34 年度 人 33 年度 つてきて 養成事
 進捗状況: 平成 29 年度 520 人 事業(b): 尾張 事業 区分: 事業概要: 	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事長年の使用で破けれるので、復元値後継者養成事業に 業」を参照・保存会会員数の尾張大野梅榮車	各年度,平成 31 年度人業等破損が目立ち多理するとともにこついては、事業変化(維持)	状況値,目標平成 32実施団体事業期間生地の劣化後継者養②の後継者養	年 人	する達成率 平成 3 張大野梅 で成 29 いって「尾張」	3 年度 人 楽車継承 年度 ~ ることも 大野梅榮耳	平成 委員会 平成 取難にな 事後継者	34 年度 人 33 年度 つてきて 大 が よ の と お り)
進捗状況: 平成 29 年度 520 人 52% 事業16: 尾張 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標:	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事用具等整備長年の使用で破りで、後継者を参照・保存会会員数の尾張大野梅榮車位【現状値】 平成	本成31年度平成31年度人大大業大変理するとと、事業で変化(維持)な保存会員数の現状28年度28年度18	状況値,目標 平成 32 実施団体 事業期間、生地の劣化、後後継者養成別の後継者養成別の後継者養務	(に対す) (車) (上) (車) (上) (車) (((((((((((((する達成率 平成 3 型張大野梅 で成 29 いっ業 「足形でして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	3 年度 人 樂車継承 年度 とも 大野梅祭 具体的な指	平成 委員会 平成 取難にな 事後継者	34 年度 人 33 年度 つてきて 大 が よ の と お り)
進捗状況: 平成 29 年度 520 人 52% 事業⑥: 尾張 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値:	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事用具等整備長年の使用で破みいるので、復元値後継者養成事業に変数照・保存会会員数の尾張大野梅榮車位【現状値】 平成	各年度.平成31年度人業で等破損が目立ちときることでは、事業では、維持)変化(維持)保存会員数の現状28年度18各年度.	状況値, 目標 平成 32 実施団体 事業労養者 単地者と 後後後継者者 様持 人 目標	(に対す) (車) (上) (車) (上) (車) (((((((((((((する達成率 平成 3 ・	3 年度 人 樂車継承 年度 とも 大野梅祭 具体的な指	平成 委員会 平成 取難にな 車後継者	34 年度 人 33 年度 つてきて 大 が よ の と お り)
進捗状況: 平成 29 年度 520 人 52% 事業⑥: 尾張 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 単様状況:	平成30年度530人56%大野梅榮車整備事用具等整備長年の使用で破みいるので、復元値後継者養成事業に変数照・保存会会員数の尾張大野梅榮車位【現状値】 平成	各年度.平成31年度人業で等破損が目立ちときることでは、事業では、維持)変化(維持)保存会員数の現状28年度18各年度.	状況値, 目標 平成 32 実施団体 事業労養者 単地者と 後後後継者者 様持 人 目標	に 年 人	する達成率 平成 3 ・	3 年度 人 樂車継承 年度 ~ ること 大野梅祭車 具体的な指 33 年	平成 委員会 平成 取難になま は次 (度 1	34 年度 人 33 年度 つで で うって きって きって も が かと おり)

事業 ⑪: 常磐:	車整備事業		実施団体:	常磐車建造100周	『年記念実行委員会
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 29 年度	~ 平成 33 年度
事業概要:	復し、後世に継承	承するための整備事業	きを行っていく	>	るため、部分的に修 後継者養成事業」を参
評価指標区分:	・保存会会員数の	変化(維持)		(具体的	勺な指標は次のとおり)
具体的な指標:	市場組常磐車の山	山車保存会(山車部会	会) の会員数の	の増加	
目標値:	【現状値】 平成 2	28 年度 20	人 ⇒ 【目	標値】 平成 33	年度 35 人
進捗状況:		各年度,状态	況値、目標に対	付する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 平	ヹ成 32 年月	度 平成 33 名	年度 平成 34 年度
23 人	29 人	人	人		人
20%	60%				
事業18: 白山	車整備事業		実施団体:	白山車建造百周年	年記念事業実行委員会
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 29 年度	~ 平成 33 年度
事業概要:	を実施していく。				て後継者養成の事業 後継者養成事業」を参
評価指標区分:	・保存会会員数の	変化 (維持)		(具体的	勺な指標は次のとおり)
	白山車保存会員数	 数の現状維持		•	
目標値:		28 年度 60	人 ⇒ 【目	標値】 平成 33	年度 60 人
目標値:			人 ⇒ 【目 況値、目標に対	1 ,,,	年度 60 人
	【現状値】 平成 2	各年度,状		対する達成率	年度 60 人
進捗状況:	【現状値】 平成 2	各年度,状	況値,目標に対	する達成率	
進捗状況: 平成 29 年度	【現状値】 平成 2 平成 30 年度	各年度,状	況値, 目標に家 で成 32 年	する達成率	年度 平成 34 年度
進捗状況: 平成 29 年度 60 人	【現状値】 平成 2 平成 30 年度 60 人 100%	各年度,状	況値, 目標に文 ² 成 32 年 人	する達成率	年度 平成 34 年度 人 人
進捗状況: 平成 29 年度 60 人	【現状値】 平成 2 平成 30 年度 60 人 100%	各年度, 状; 平成 31 年度 平	況値, 目標に文 成 32 年 人 実施団体:	対する達成率 度 平成 33 全 、 常滑焼活用推進	年度 平成 34 年度 人 人
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業19: 常滑頻	【現状値】 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% 売急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代から現行 ・やきもの散歩道 やきもの散歩道	各年度,状況 平成 31 年度 平人 人 やきもの散歩道めぐり さめぐり 引辺の見どころ紹介な	況値, 目標に文 成 32 年 実施団体: 事業期間: 手品展示と解詞	対する達成率 度 平成 33 名 常滑焼活用推進 平成 30 年度 说パネルの掲示	年度 平成 34 年度 人 人 本員会
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業(9): 常滑短事業区分:	【現状値】 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% 売急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代から現行 ・やきもの散歩道 やきもの散歩道 ・地域の文化遺産	各年度,状況 平成 31 年度 人 やきもの散歩道めぐり 代までの常滑焼急須作道めぐり	況値, 目標に文	する達成率 度 平成 33 全 常滑焼活用推進 平成 30 年度 ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹	年度 平成 34 年度 人 人 本員会
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業(图: 常滑頻 事業区分: 事業概要:	「現状値」 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% 売急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代から現イ ・やきもの散歩道 やきもの散歩道 ・地域の文化遺産 ソーシャルキャピ	各年度,状況 平成 31 年度 平人 人 やきもの散歩道めぐり 当めぐり 同辺の見どころ紹介なイベント等(本事業の)	祝値, 目標に文 成 32 年 大 実施団体: 事業期間: 手品展示と解言 など 取組を除く)に 取組を除く)に など 取組を除く)に など	する達成率 度 平成 33 全 常滑焼活用推進 平成 30 年度 ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹	年度 平成 34 年度 人 人 委員会 麦 ~ 平成 33 年度
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業(9): 常滑短事業区分: 事業概要: 評価指標区分:	「現状値」 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% 売急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代からもの散歩道尾 ・やきもの散歩道尾 ・地域の文化遺産 ソーシャルキャピ 事業への協賛企業	各年度, 状況 31 年度 平 人	祝値, 目標に文 成 32 年 大 実施団体: 事業期間: 手品展示と解言 など 取組を除く)に 体、賛同者等) 体、	する達成率 度 平成 33 全 常滑焼活用推進 平成 30 年度 ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹	年度 平成 34 年度 人 人 人 委員会 を マ 平成 33 年度
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業(9): 常滑類 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標:	「現状値」 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% 売急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代から現イ ・やきもの散歩道尾 ・地域の文化遺産 ソーシャルキャピ 事業への協賛企業	各年度, 状況 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	況値, 目標に文 成 32 年 大 実施団体: 事業期間: 手品展示と解言 はど 取組を除く)に 体、賛同者等) は、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体	対する達成率 度 平成 33 全 常滑焼活用推進 平成 30 年度 兑パネルの掲示	年度 平成 34 年度 人 人 女員会 そ 平成 33 年度
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業®: 常滑頻 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値:	「現状値」 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% 売急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代から現イ ・やきもの散歩道尾 ・地域の文化遺産 ソーシャルキャピ 事業への協賛企業	各年度, 状況 31 年度 平 人	況値, 目標に文 成 32 年 大 実施団体: 事業期間: 手品展示と解言 はど 取組を除く)に 体、賛同者等) は、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体、 体	対する達成率 度 平成 33 全 常滑焼活用推進 平成 30 年度 党パネルの掲示 こおける (具体的 標値] 平成 33	年度 平成 34 年度 人 人 女員会 そ 平成 33 年度
進捗状況: 平成 29 年度 60 人 100% 事業(1): 常滑線 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値: 進捗状況:	「現状値」 平成 2 平成 30 年度 60 人 100% ・急須の企画展示と 普及啓発 ・常滑焼の歴史 江戸時代の散歩道尺 ・やきもの散化遺産 ・地域の文化よャピ 事業への協賛企業 【現状値】 平成 2	各年度, 状況 31 年度 平 人	況値, 目標に文 成 32 年 大 実施団体: 事業期間: 手品展示と解言 を取組を除る(2) はない、 (1) はない、 (1)	対する達成率 度 平成 33 全 常滑焼活用推進 平成 30 年度 党パネルの掲示 こおける (具体的 標値】 平成 33 対する達成率 度 平成 33 全	年度 平成 34 年度 人 人 委員会 E ~ 平成 33 年度

事業②: 常磐:	車祭囃子記録作成事業	É	実施団体: 常	常磐車建造100周年記	尼念実行委員会
事業区分:	記録作成		•	平成 30 年度 ~	
事業概要:	文化財である常磐車 鼓、鼓の正しい指使 よる経年の変化を避	いや洒落の入れ方	などを把握し	、映像として記録る	を残す。人伝えに
評価指標区分:	・保存会会員数の変化	公(維持)		(具体的な指	f標は次のとおり)
具体的な指標:	市場組常磐車の囃子	保存会(囃子保存	部会) の会員	数の増加	
目標値:	【現状値】 平成 29	年度 23 人	→【目標	値】 平成 33 年	度 33 人
進捗状況:		各年度,状況	記値、目標に対す	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平	成 31 年度 平	成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
23 人	27 人	人	人	人	人
0%	40%				
事業②: 常滑	市奥条区祭り囃子等記	己録作成事業	実施団体: 常	滑市奥条区	
事業区分:	記録作成		事業期間:	平成 30 年度 ~	平成 30 年度
事業概要:	奥条区に伝わる祭り 囃子保存会会員や約 は常滑市民文化会館 イ・DVDに記録録 し、情報発信してい	20人が演奏、演舞 ホールの舞台上で あして、後継者育成	するものを録 行う予定をし	音・映像により収録 ており、その記録®	录する。収録場所 央像をブルーレ
評価指標区分:	・保存会会員数の変化	江(維持)		(具体的な指	f標は次のとおり)
ー 具体的な指標:	奥条囃子保存会会員	の I 前 hn		<u></u>	
天体りの山水・		、マンゴー			
目標値:	央宋州丁休仔云云貝 【現状値】 平成 29	年度 100 人	→【目標	161 平成 33 年	度 116 人
		年度 100 人	→ 【目標 記値, 目標に対す		度 116 人
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平	年度 100 人	記値, 目標に対っ	する達成率	度 116 人 平成 34 年度
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人	年度 100 人 各年度, 状況	記値, 目標に対っ	する達成率	
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人 63%	年度 100 人 各年度、状況 7成 31 年度 平人 人	R値,目標に対で 成 32 年度 人	する達成率 平成 33 年度 人	平成 34 年度 人
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人	年度 100 人 各年度、状況 7成 31 年度 平人 人	R値,目標に対で 成 32 年度 人	する達成率 平成 33 年度	平成 34 年度 人
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑のを	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人 63% 総文化を訪日外国人に紹介するプロ 情報発信	年度 100 人	R値,目標に対で成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 円	する達成率 平成 33 年度 人 こなめ山車まつり 平成 31 年度 ~	平成 34 年度 人 実行委員会 平成 31 年度
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑の伝 事業区分:	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人 63% 総文化を訪日外国人に紹介するプロール	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 作成する。目 動画とし、市	する達成率 平成 33 年度 人 こなめ山車まつり 成 31 年度 ~ 韓国語、日本語)の 的別にロングバージ 内公共機関、空港、	平成34年度人実行委員会平成31年度の「常滑の文化遺ジョンとショート 宿泊施設、観光
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑の伝 事業区分:	【現状値】 平成29平成30年度平110人63%続文化を訪日外国人に紹介するプロージョンを作成するプロージョンを作成するプロージョンを作成するプロージョンを作成するプロージョンを作成するプロージョンを作成するプロージョンを作成するアングバージョントバージョン・ショートバージョン・ショートバージョン	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 作成する。目 動画とし、市	する達成率 平成 33 年度 人 二 こなめ山車まつり 正	平成34年度人実行委員会平成31年度の「常滑の文化遺ジョンとショート 宿泊施設、観光
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑の位 事業区分:	【現状値】 平成29平成30年度平110人63%統文化を訪日外国人に紹介するプロージを記述するのである。英語 産」を紹介するのである。情報発信4ヶ国語対応(英語 産」を紹介するのである。4ヶ国語対応(英語 マンシャンを作成・ションを作成・フングバージョンを作成・ショントバージョン散を目的とする。	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 /作成する。」目 動画とし、Face	する達成率 平成 33 年度 人 こなめ山車まつり 成 31 年度 ~ 韓国語、日本語)の 的別にロングバー 内公共機関、空港、 bookやYoutubeとい (具体的な指	平成 34 年度 人 実行委員会 平成 31 年度 の「常滑の文化遺 ジョンとショート 宿泊施設、観光 ったSNSによる拡
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑のを 事業区分: 事業既分:	【現状値】 平成29平成30年度平110人63%続文化を訪日外国人に紹介するプロージを信本の英語情報発信4ヶ国語対応(英語英語イケ国語がするのである。 ・ロングバージョンを作成ンン・案内所、各種イベョンである。 ・ショートバージョン散を目的とする。 ・その他	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 作成する。 目 動画とし、Face における外国	する達成率 平成 33 年度 人 こなめ山車まつり 成 31 年度 ~ 韓国語、日本語)の 的別にロングバー 内公共機関、空港、 bookやYoutubeとい (具体的な指 人入込客数	平成 34 年度 人 実行委員会 平成 31 年度 の「常滑の文化遺 ジョンとショート 宿泊施設、観光 ったSNSによる拡 には次のとおり)
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑の位 事業区分: 事業区分:	【現状値】 平成29平成30 年度平110人63%統文化を訪日外国人に紹介するプロ情報発信4 ヶ国語対応(英語ロバージョンを作成ングバージョンを作成ングバージョンを作成ングがある。大いコングバージョン散を目的とする。・その他常滑市観光協会(常	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 作成する。 目 動画とし、Face	する達成率 平成 33 年度	平成 34 年度 人 実行委員会 平成 31 年度 の「常滑の文化遺 ジョンとショート 宿泊施設、観光 ったSNSによる拡 には次のとおり)
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 0% 事業②: 常滑の位 事業区分: 事業区分: 事業概要: 事業概要:	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人 63% 統文化を訪日外国人に紹介するプロージーを記録がある。 ・ との他 常滑市観光協会(常 【現状値】 平成 30	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 作成 画とし、Face における外国 における外国	する達成率 平成 33 年度	平成 34 年度 人 実行委員会 平成 31 年度 の「常滑の文化遺 ジョンとショート 宿泊施設、観光 ったSNSによる拡 には次のとおり)
目標値: 進捗状況: 平成 29 年度 100 人 の% 事業29: 常滑のを 事業区分: 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値: 進捗状況:	【現状値】 平成 29 平成 30 年度 平 110 人 63% 統文化を訪日外国人に紹介するプロージーを記録がある。 ・ との他 常滑市観光協会(常 【現状値】 平成 30	年度 100 人	R値、目標に対す 成 32 年度 人 実施団体: と 事業期間: 「 作成 画とし、Face における外国 における外国	する達成率 平成 33 年度	平成 34 年度 人 実行委員会 平成 31 年度 の「常滑の文化遺 ジョンとショート 宿泊施設、観光 ったSNSによる拡 看標は次のとおり) 度 6,000 人

事業您: 第三[回 とこなめ山車	まつり	実施団体:と	こなめ山車まつり	実行委員会			
事業区分:	普及啓発		事業期間: 3	平成 31 年度 ~	平成 31 年度			
事業概要:		市内の山車を集結し、からくり、三番叟、囃子等を披露し公開する。地元への愛着を もってもらうと共に、各地区保存会への新規入会を積極的に呼び掛ける。						
評価指標区分:	・その他			(具体的な指	f標は次のとおり)			
具体的な指標:	常滑市内祭り保有	会における子ども	会員数(小学1	年生~中学3年生)				
目標値:	【現状値】 平成 3	0 年度 245	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 270 人			
進捗状況:		各年度,北	犬況値、目標に対す	する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
人	245 人	人	人	人	人			
	0%							
事業26: 常磐	車祭囃子後継者養原	成事業	実施団体: 常	常磐車建造100周年記	尼念実行委員会			
事業区分:	後継者養成		事業期間:	² 成 31 年度 ~	平成 31 年度			
事業概要:	のテンポや強弱、		を変えるタイミ	めに、人伝えにより ングなど、保存会0 。				
評価指標区分:	・保存会会員数の変	变化(維持)		(具体的な指	f標は次のとおり)			
具体的な指標:	市場組常磐車の囃	上 子保存会(囃子保	:存部会)の会員	数の増加				
目標値:	【現状値】 平成 3	0 年度 26	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 33 人			
進捗状況:		各年度,1	犬況値,目標に対す	する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
人	26 人	人	人	人	人			
	0%							